

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
中国・四国支部 令和5年度 総会

日時：令和5年3月25日（土） 15：20 - 16：10

会場：県立広島大学サテライトキャンパスひろしま 501,502 講義室

（〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター5階）

式次第：

開会

挨拶 支部長

議事

1. 令和4年度支部活動・会計の報告

1.1 令和4年度活動報告 ……資料 1-1

● 中国・四国地区SSORプログラム ……資料 1-1-1

1.2 令和4年度会計報告 ……資料 1-2

● 監査報告書 ……資料 1-2-1

2. 令和5年度支部事業計画について

2.1 令和5年度支部役員（案） ……資料 2-1

2.2 令和5年度活動計画（案） ……資料 2-2

● 「プロジェクトマネジメントと確率モデル」研究部会 ……資料 2-2-1

● 「SCM&サービス工学」研究部会 ……資料 2-2-2

● 「OR と数学」研究部会 ……資料 2-2-3

2.3 令和5年度予算（案） ……資料 2-3

3. その他

閉会

中国・四国支部 令和4年度活動報告(令和5年2月28日まで)

総会(1回)

第1回 日時:令和4年3月26日(土) 15:15 - 16:15

開催方法:Zoomを用いたオンライン開催

- 議題:(1)令和3年度支部活動および決算の報告
(2)令和4年度支部役員の選出
(3)令和4年度活動計画および予算案について
(4)その他

運営委員会(2回)

第1回 日時:令和4年3月26日(土) 14:00 - 15:00

開催方法:Zoomを用いたオンライン開催

- 議題:(1)令和3年度支部活動および決算の報告
(2)令和4年度支部役員の選出
(3)令和4年度活動計画および予算案について
(4)その他

第2回 日時:令和4年12月24日(土) 15:00 - 16:00

開催方法:Zoomを用いたオンライン開催

- 議題:(1)令和5年度支部事業計画について
(2)次年度支部総会についての活動・予算などの報告・計画
(3)令和4年度支部活動,実施,決算報告について
(4)令和5年度第1回運営委員会および総会の日程検討
(5)その他

支部懇親会

コロナ禍の状況により,本年度は未開催.

令和4年度中国・四国地区 SSOR

日時：令和4年11月5日（土）13:00 - 6日（日）12:00

開催方法：対面および zoom によるハイブリッド開催

対面参加会場：香川大学創造工学部（林町キャンパス 3302 講義室）

実行委員長：玉置哲也（香川大学）

幹事：中山慎一（徳島大学），宇野剛史（徳島大学）

プログラム：資料 1-1-1 にて掲載

参加人数：25名（内 学生15名）

論文賞	発表賞
山田 和弥（近畿大学）	山田 和弥（近畿大学）
川本 樹（香川大学）	濱屋 聡太（鳥取大学）
安藤 清佳（広島大学）	近久 湊（徳島大学）

令和4年度支部定例シンポジウム

日時：令和4年12月10日（土）13:00 - 17:30

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

実行委員長：加藤浩介（広島工業大学）

プログラム

13:00-14:00

題目：「映像情報符号化技術と国際標準」

講師：山岸秀一 氏（広島工業大学情報学部情報コミュニケーション学科教授）

14:00-14:10（休憩）

14:10-15:10

題目：「AHP における一対比較行列と固有多項式」

講師：白石俊輔 氏（広島工業大学情報学部情報コミュニケーション学科教授）

15:10-15:20（休憩）

15:20-16:20

題目：「美しい幾何学図形を素材とした自動作曲」

講師：梅村祥之 氏（広島工業大学情報学部情報工学科教授）

16:20-16:30 （休憩）

16:30-17:30

題目：「高解像度力覚提示装置の開発と VR への応用」

講師：赤羽克仁 氏（広島工業大学情報学部情報工学科准教授）

支部講演会

■ 第 1 回講演会

日時：令和 4 年 3 月 2 6 日(土) 16:30 - 17:30

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

講師：池上敦子（成蹊大学理工学部情報科学科 教授）

題目：ナーススケジューリング：多様な解と類似な解

■ 第 2 回講演会

日時：令和 4 年 9 月 2 2 日（土） 16:00 - 17:00

場所：広島大学工学部 A1 棟 A1-141（広島大学東広島キャンパス 東広島市鏡山 1-4-1）

形式：ハイブリッド（現地, Zoom オンライン）

題目：Performability Analysis of Computer Systems

講師：Ermeson Andrade 氏（Department of Computing, Federal Rural University of Pernambuco, Brazil）

概要：

Many computer systems require the ability to deliver acceptable levels of quality 24 hours a day, seven days a week, and cannot afford a system outage lasting more than a few hours because it might result in a significant financial loss or put the company out of business. Many methodologies measure and predict availability and performance separately. However, these methodologies can lead to incomplete or even inaccurate conclusions, since availability and performance are interdependent. For critical systems, the combined analysis of performance and availability, named performability, is essential. In this talk, I intend to present the research areas in which I have been developing work

on the analysis of availability, performance and performability of computer systems (ex.: UAV, fog-cloud IOT environments and cyber-physical systems). In addition, the main works we have published in recent years are explored throughout the talk to illustrate the approaches and their application.

■ 第3回講演会

日時：令和4年11月5日(土) 15:50 - 16:50

開催方法：対面および zoom によるハイブリッド開催

対面参加会場：香川大学創造工学部（林町キャンパス 3302 講義室）

講師：鈴木達也（香川大学 創造工学部 助教）

題目：施設配置の最適化-配置から規模、そしてネットワークへ-

■ 第4回講演会

日時：令和4年12月24日(土) 16:15 - 17:30

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

講師：野々部宏司（法政大学デザイン工学部 教授）

題目：メタヒューリスティクスによる最適化ソルバーの開発

概要：実務に現れる種々の割当て問題やスケジューリング問題などの組合せ最適化問題を対象としてこれまでに開発してきたメタヒューリスティクスに基づく最適化ソルバーについて、それらの概要や適用事例を紹介する。

■ 第5回講演会

日時：令和5年2月18日(土) 14:30-15:45

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

講師：広谷大助（県立広島大学 地域創生学部地域創生学科地域産業コース 准教授）

題目：インダストリー4.0 とその研究

概要：本講演では第4次産業革命とも呼ばれるインダストリー4.0についてまず概要を説明する。インダストリー4.0は元々ドイツから始まった国家プロジェクトであり、製造業のデジタル化・コンピュータ化を目指すコンセプトである。インダストリー4.0のキーワードとしてはモノのインターネット（Internet of Things: IoT）やビッグデータ等が挙げられる。概要の説明の後、インダストリー4.0に関連し論文が掲載された研究"動的スケジューリング問題の

ための長期メモリを用いた並列分散遺伝的プログラミング"と
"Exact Solution Method for Balancing of a Self-Balancing
Production Line with Worker- and Station-Dependent Speed
(日本語訳：作業員・ステーションに依存した速度を伴う自己
バランスラインに対する厳密解法)"を紹介し、インダストリー
4.0 との関連を説明する。

「プロジェクトマネジメントと確率モデル」研究部会

(主査：伊藤弘道(鳥取大学)，幹事：小柳淳二(鳥取大学)，南野友香(鳥取大学)，山田茂
(鳥取大学名誉教授))

■ 第1回講演会

日時：令和4年7月20日(水) 15:00 - 16:30

場所：鳥取大学工学部 G棟 2F 22 講義室

講師：山下茂司(三菱重工業)

題目：AI活用トラブル検知ツール開発

「SCM&サービス工学」研究部会

(主査：谷崎隆士(近畿大学)，幹事：宇野剛史(徳島大学))

■ 第1回講演会

日時：令和4年6月18日(土) 16:10 - 17:30

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

主催(共催)：

- ・日本経営システム学会 中国四国支部
- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会 「SCM&サービス工学」支部研究部会
- ・日本経営システム学会 イノベーション指向データ分析研究会

講師：山岸秀一(広島工業大学 情報学部 情報コミュニケーション学科 教授)

題目：映像情報符号化技術と国際標準

■ 第2回講演会

日時：令和5年1月7日(土) 16:00 - 17:20

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

主催（共催）：

- ・日本経営システム学会 中国四国支部
- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会 「SCM&サービス工学」支部研究部会
- ・日本経営システム学会 イノベーション指向データ分析研究会

講師：寺西大（広島工業大学 情報学部 情報工学科 准教授）

題目：人工知能技術に基づく技能情報の分類・可視化

「OR と数学」研究部会

（主査：中山慎一（徳島大学），幹事：宇野剛史（徳島大学），大橋守（徳島大学），竹内博（四国大学））

■ 第 1 回講演会

日時：令和 4 年 1 2 月 6 日 (火) 16:10 - 18:00

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

主催（共催）：

- ・徳島大学談話会
- ・日本 OR 学会中国・四国支部「OR と数学」研究部会

講演プログラム

1) 16:10 - 17:00

安本真士（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

講演題目：可積分な曲面の離散化とその構成

概要：

3次元ユークリッド空間内のガウス曲率負一定曲面や極小曲面をはじめとする，特定の曲率条件のもとでの曲面の研究は，微分幾何のみならず種々の観点から研究が行われている．本講演では，これらの曲面のクラスの背後に潜むある種の可積分性を保つ曲面の離散化の理論を概説し，いくつかの離散曲面の構成法について最近得られた結果（Mason Pember 氏，Denis Polly 氏との共同研究）を紹介する．時間が許せば，講演者によって構築された，3次元ローレンツ・ミンコフスキー空間内の時間的極小曲面の離散化についても概要を紹介する．

2) 17:10 - 18:00

水野義紀（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

講演題目：虚二次体の類数のはなし

概要：

虚二次体の類数について、講演者の結果をいくつか紹介します。すべて判別式条件を緩める形での諸公式の一般化を与えるものです。1. 連分数展開と類数（ヒルツェブルフ・ザギエ型公式）、2. 位取り記数法と類数（ギルツマイル・平林型公式）、3. ペアの類数とヒルベルト・アイゼンシュタイン級数のフーリエ係数。1と2は数の表記法と類数の関係を与える内容で、3は特異モジュライに関するグロス・ザギエ型公式（ハッチンソン予想）に応用をもちます。

■第2回講演会

日時：令和5年2月18日（土）16:00-17:15

開催方法：Zoom を用いたオンライン開催

講師：加藤淳一（久留米大学 商学部 准教授）

題目：市場創造分析を巡って

概要：

本発表は、参考資料の『市場創造分析』に基づいて行う。本発表の貢献は、次の2つに整理できる。（1）社会科学研究に対する貢献は、理論（変数間関係）に基づいた仮説一検証研究から、アルゴリズム（分析手順）に基づいた研究へと、社会科学研究の可能性を押し広げたことである。

（2）マーケティング研究に対する貢献は、ブログ記事（日本語の文章）のデータから市場創造を解明できるアルゴリズム（手順）を具体的に提案したことである。これらは、アルゴリズムの時代といわれる今日において、ビジネスに関連した諸問題を、アルゴリズム（分析手順）アプローチで解決する具体的な方向性を提案するものである。

参考資料：<https://bit.ly/3XnszZD>（PDF ファイル 無料ダウンロード可能）

支部長表彰（6名）

氏名・所属：宮本翔一郎（山口大学大学院 創成科学研究科）

修士論文題目：Optimization Analysis Based on Stochastic Models and Deep Learning for Open Source Projects

推薦者：田村慶信（山口大学大学院創成科学研究科 教授）

氏名・所属：松本拓也（鳥取大学工学部 社会システム土木系学科）

卒業論文題目：都市公園のネットワーク特性が近隣居住環境に与える影響の分析

推薦者：

鳥取大学大学院工学研究科社会経営工学講座, 教授, 伊藤 弘道 (正会員)

鳥取大学大学院工学研究科社会経営工学講座, 教授, 福山 敬 (正会員)

鳥取大学大学院工学研究科社会経営工学講座, 教授, 谷本 圭志 (正会員)

鳥取大学大学院工学研究科社会経営工学講座, 准教授, 小柳 淳二 (正会員)

鳥取大学大学院工学研究科社会経営工学講座, 准教授, 南野 友香 (正会員)

氏名・所属：岡田佳樹（広島大学工学部第二類電気システム情報プログラム 社会情報学研究室）

卒業論文題目：操作量予測のためのトピック分析に基づく作業者モデルの構築

推薦者：林田智弘（広島大学先進理工系科学研究科 電気システム制御プログラム准教授）

氏名・所属：十字優輔（広島工業大学情報学部情報工学科）

卒業論文題目：マルチエージェントシステムに基づく性差別を考慮した社会的差別のシミュレーションに関する研究

推薦者：加藤浩介（広島工業大学情報学部情報工学科 教授）

氏名・所属：藤原匠之介（近畿大学工学部情報学科）

卒業論文題目：干渉する搬送設備を持つ生産プロセスにおけるパス間接続法を用いたスケジューリングアルゴリズム

推薦者：谷崎隆士（近畿大学工学部情報学科教授）

氏名・所属：野高慈大（徳島大学大学院創成科学研究科 理工学専攻 数理科学コース）

修士論文題目：警備体制が秘匿された警備ゲーム

推薦者：宇野剛史（徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 准教授）

2022 年 日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国地区 SSOR プログラム

	開始時刻	終了時刻	タイトル	発表者 (敬称略)
11月5日				
	13:00	13:20	ネットワークボロノイ分割+順列生成アルゴリズムを用いた連続鋳造設備のキャストスケジューリング	山田 和弥
	13:20	13:40	コロナ罹患患者特徴情報有無による飲食店来店客数の予測精度の分析	上妻 駿佑
	13:40	14:00	持続可能な藻場環境の管理及び収益の最適化	川本 樹
			(休憩)	
	14:15	14:35	不確実性を考慮したサプライチェーンにおける需要者・供給者間の利益分配に関する対話型手法の適用	荒井 翔
	14:35	14:55	加工木材倉庫運用効率化問題のモデル化と実用的解法	有野 正英
	14:55	15:15	警備体制が秘匿された警備ゲーム	野高 慈大
	15:15	15:35	POS データに基づく商品の関連性を考慮した売上傾向の抽出	濱屋 聡太
			(休憩)	
	15:50	16:50	施設配置の最適化-配置から規模、そしてネットワークへ-	鈴木 達也
	18:00	21:00	情報交換会	
11月6日				
	10:00	10:10	通過指定箇所がある格子状における最短経路問題を解くプログラム開発について	近久 溪
	10:10	10:20	周辺景観と環境意識が風力発電施設の受入意思額に与える影響	大野 由貴
(オンライン)	10:20	10:40	原子炉運転員の最適トレーニング計画	川上 翔
			(休憩)	
(オンライン)	11:10	11:20	スマートコントラクト構築のためのノーコード・ローコード技術に関する検討	松本 岳大
(オンライン)	11:20	11:30	Julia言語による組込システム開発に関する考察	柴田 真由
(オンライン)	11:30	11:40	パーフェクトサンプリングアルゴリズムの確率的モデルチェッキングへの応用に関する一考察	安藤 清佳
(オンライン)	11:40	11:50	確率的線形生産ゲームに対するフラクタルモデルアプローチ	丸尾 英彰

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部

令和4年度支部会計

自 令和4年3月1日
至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部運営費	250,000	250,000	
支部事業費 (シンポジウム)	50,000	50,000	
支部事業費 (SSOR)	50,000	50,000	
利息	0	2	
収入合計①	350,000	350,002	
(支出の部)			
支部運営費			
会議費	20,000	24,275	ZOOM年間Pro契約(1ホスト/\$164.89)
講演会費	60,000	57,113	池上氏, Andrade氏, 鈴木氏, 野々部氏, 広谷氏
部会費	120,000	66,822	40,000×3部会
表彰関係費	10,000	7,675	支部長賞6名 (賞状437, 額縁3,388, ゆうパック袋500, 特定記録郵便3350)
協賛費	10,000	0	
事務費	5,000	0	
通信運搬費	5,000	0	
事業費	20,000	7,600	SSOR
支部事業費 (シンポジウム)	50,000	44,548	
支部事業費 (SSOR)	50,000	50,000	
本部返金	0	91,969	
支出合計②	350,000	350,002	
当期運営残高①-②	0	0	

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
 令和4年度支部定例シンポジウム 会計報告

自 令和4年3月1日
 至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部事業費	50,000	44,548	本部から
	10,000	0	支部から
収入合計	60,000	44,548	
(支出の部)			
講演会費	60,000	44,548	山岸氏11,137円, 源泉徴収1,137円 白石氏11,137円, 源泉徴収1,137円 梅村氏11,137円, 源泉徴収1,137円 赤羽氏11,137円, 源泉徴収1,137円
講演謝金			
支出合計	60,000	44,548	
残高	0	0	

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
令和4年度SSOR 会計報告

自 令和4年3月1日
至 令和5年2月28日

	費目	詳細	金額	備考
収入	協賛・助成	OR学会	50,000	
		OR中国四国支部	7,600	
	小計①		57,600	
	参加費	一般	0	15,000×0名
		若手・学生	0	7,000×0名
宿泊無 学生		0	0×0名(宿泊無,登録料免除とする)	
懇親会参加者		0	懇親会のみ一般参加者0名	
小計②		0		
収入合計			57,600	①+②
支出	会場費		3,600	香川大学
	宿泊費		0	
	懇親会		0	
	小計③		3,600	
	講師謝金		0	支部講演会として開催
	小計④		0	
	学生アルバイト		24,000	3000*8名
	学生表彰(発表賞)		15,000	5000*3名(Amazonギフト券)
	学生表彰(論文賞)		15,000	5000*3名(Amazonギフト券)
	賞状用紙		0	以前購入した賞状用紙を使用
郵送費		0	以前購入したレターパックライトを使用	
小計⑤		54,000		
支出合計			57,600	③+④+⑤
残金			0	

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
令和4年度支部研究部会「プロジェクトマネジメントと確率モデル」会計報告

自 令和4年3月1日

至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部) 支部部会費	40,000	40,000	
収入合計	40,000	40,000	
(支出の部) 講演会費	40,000	11,137	山下氏(11/24) 11,137円, 源泉徴収1,137円
支出合計	40,000	11,137	
残高	0	28,863	

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
 令和4年度支部研究部会「SCM&サービス工学」会計報告

自 令和4年3月1日
 至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部部会費	40,000	40,000	
収入合計	40,000	40,000	
(支出の部)			
講演会費	40,000	11,137 11,137	山岸氏 (6/18) 11,137円, 源泉徴収1,137円 寺西氏 (1/7) 11,137円, 源泉徴収1,137円
支出合計	40,000	22,274	
残高	0	17,726	

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
 令和4年度支部研究部会「ORと数学」会計報告

自 令和4年3月1日
 至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部) 支部部会費	40,000	40,000	
収入合計	40,000	40,000	
(支出の部) 講演会費	40,000	11,137 11,137 11,137	安本氏 (12/6) 11,137円, 源泉徴収1,137円 水野氏 (12/6) 11,137円, 源泉徴収1,137円 加藤氏 (2/18) 11,137円, 源泉徴収1,137円
支出合計	40,000	33,411	
残高	0	6,589	

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
令和4年度支部会計

自 令和4年3月1日
至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部運営費	250,000	250,000	
支部事業費 (シンポジウム)	50,000	50,000	
支部事業費 (SSOR)	50,000	50,000	
利息	0	2	
収入合計①	350,000	350,002	
(支出の部)			
支部運営費			
会議費	20,000	24,275	ZOOM年間Pro契約(1ホスト/\$164.89)
講演会費	60,000	57,113	池上氏, Andrade氏, 鈴木氏, 野々部氏, 広谷氏
部会費	120,000	66,822	40,000×3部会
表彰関係費	10,000	7,675	支部長賞6名 (賞状437, 額縁3,388, ゆうバック袋500, 特定記録郵便3350)
協賛費	10,000	0	
事務費	5,000	0	
通信運搬費	5,000	0	
事業費	20,000	7,600	SSOR
支部事業費 (シンポジウム)	50,000	44,548	
支部事業費 (SSOR)	50,000	50,000	
本部返金	0	91,969	
支出合計②	350,000	350,002	
当期運営残高①-②	0	0	

会計帳簿および領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認いたしました。

令和 5 年 2 月 28 日

署名

西崎 一郎



公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
令和4年度支部会計

自 令和4年3月1日
至 令和5年2月28日

	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部運営費	250,000	250,000	
支部事業費 (シンポジウム)	50,000	50,000	
支部事業費 (SSOR)	50,000	50,000	
利息	0	2	
収入合計①	350,000	350,002	
(支出の部)			
支部運営費			
会議費	20,000	24,275	ZOOM年間Pro契約(1ホスト/\$164.89)
講演会費	60,000	57,113	池上氏, Andrade氏, 鈴木氏, 野々部氏, 広谷氏
部会費	120,000	66,822	40,000×3部会
表彰関係費	10,000	7,675	支部長賞6名 (賞状437, 額縁3,388, ゆうパック袋500, 特定記録郵便3350)
協賛費	10,000	0	
事務費	5,000	0	
通信運搬費	5,000	0	
事業費	20,000	7,600	SSOR
支部事業費 (シンポジウム)	50,000	44,548	
支部事業費 (SSOR)	50,000	50,000	
本部返金	0	91,969	
支出合計②	350,000	350,002	
当期運営残高①-②	0	0	

会計帳簿および領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認いたしました。

令和5年2月27日

署名

福山 敬



公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
中国・四国支部 令和5年度支部役員（案）

（五十音順，敬称略）

役職	氏名	所属	新・再・留任	備考
支部長（1名）	谷崎 隆士	近畿大学	（留）	
副支部長 （2名）	高濱 節子	広島修道大学	（再）	
	池田 優	中国電力	（留）	
運営委員 （14名）	伊藤 弘道	鳥取大学	（留）	研究普及委員
	岡村 寛之	広島大学	（留）	
	梶川 祐朗	(株)ひらめきデザイン	（再）	
	加藤 浩介	広島工業大学	（再）	
	金川 明弘	岡山県立大学	（再）	
	島田 文彦	広島国際大学	（留）	
	中村 昭史	中国電力	（新）	
	西 竜志	岡山大学	（新）	
	玉置 哲也	香川大学	（再）	
	田村 慶信	山口大学	（再）	
	堂本 絵理	広島経済大学	（再）	
	中山 慎一	徳島大学	（留）	
	広谷 大助	県立広島大学	（再）	
	水谷 昌義	安田女子大学	（留）	
監事 （2名）	西崎 一郎	広島大学	（再）	
	福山 敬	鳥取大学	（留）	
幹事 （5名）	宇野 剛史	徳島大学	（再）	支部事務局
	片岡 隆之	近畿大学	（再）	
	小柳 淳二	鳥取大学	（留）	研究普及委員
	齋藤 靖洋	海上保安大学校	（留）	
	南野 友香	鳥取大学	（留）	
顧問 （4名）	大橋 守	徳島大学		
	海生 直人	広島修道大学		
	土肥 正	広島大学		
	山田 茂	鳥取大学		

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

中国・四国支部 令和5年度活動計画（案）

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 総会 | 1回 |
| 2. 運営委員会 | 2回 |
| 3. 支部懇親会 | 2回 |
| 4. 支部講演会 | 5回 |
| 5. 共催・協賛研究会等 | 未定 |
| 6. 支部研究部会 | 3部会 |
| 7. 支部長表彰 | 若干名 |
| 8. 支部シンポジウム（SSORは今年度見送り） | |

2023 年度支部事業費は4支部（北海道，東北，九州，中部），2024 年度支部事業費は2支部（関西，中国・四国）が優先的に採用されるため，今年度は申請を見送り

- 中国・四国地区 SSOR：昨年度は四国地区担当で，以降山陽，山陰，四国地区で持ち回り
- 支部主催シンポジウム：昨年度は山陽地区担当で，以降山陰，四国，山陽地区で持ち回り

1. 名称：プロジェクトマネジメントと確率モデル

2. 部会組織

主査： 鳥取大学 大学院工学研究科 教授 伊藤弘道
幹事： 鳥取大学 大学院工学研究科 准教授 小柳淳二
鳥取大学 大学院工学研究科 准教授 南野友香
鳥取大学 名誉教授 山田茂

3. 設立趣旨

プロジェクトマネジメントは、現代におけるモノづくりの管理手法として産業界で幅広く活用されている。近年のプロジェクトマネジメントの特徴は、リスクを定量化するリスクマネジメントが重視される点である。不確定要素をどこまで正確に予測し有効な対策を講じるかがプロジェクト成功の鍵であり、そのためのツールである FMEA やリスクマトリクスなどの手法は既に産業界に深く浸透している。こうしたツールを用いることと並行して、過去に得られたデータを有効にリスクマネジメントに活用するために確率モデルが用いられる。

リスクの不確実さを表現するために、確率モデルは有用なツールとなる。まだ統計解析ができるほどのデータが得られていない計画段階であっても確率モデルを用いた検討は可能であるため、プロジェクトの初期からリスクマネジメントに活用することができる。しかし確率モデルを扱うには応用確率論を理解しなければならず、実務家にとって大きな障害になっている。そこで、確率モデルを扱う専門家とプロジェクトマネジメントを担当する実務者の双方が協力して同じテーマに取り組むことが求められる。

本研究部会では、確率モデルの理論研究者とプロジェクトマネジメント実務者の双方が同じテーマを議論する場を設け、忌憚ない意見を交換することで、リスクマネジメントあるいはプロジェクトマネジメントに確率モデルを有効に適用するうえでの新しい可能性を探る。

4. 対象分野

- (1) 理論分野：応用確率論，(ソフトウェア・ハードウェア) 信頼性工学
- (2) 実務分野：道路，橋梁，発電施設，航空機等

5. 研究部会開催計画

年2回以上の開催を予定している。

6. 運営方法

- ・開催の案内は、主に支部メーリングリスト等を通じて支部会員に告知する。
- ・予算に関しては、講演謝金4件(10,000円×4)を予定している。
- ・研究部会企画については、主査・幹事が主に担うが、広く支部会員からも逐次アイデアを受け、さらに充実したものとしてゆく。

以上

2023. 1. 26

近畿大学

工学部

谷崎

1. 名称：SCM&サービス工学研究部会

2. 部会組織

主査： 近畿大学工学部情報学科 教授 谷崎隆士

幹事： 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 宇野剛史

3. 設立趣旨

従来の「ものづくり分野」「サプライチェーン分野」に加えて、「サービス分野」への生産性向上や振興が期待されている。

本研究部会は、サプライチェーンマネジメント、サービス工学における最新の研究を進めていく。理論研究発表、応用研究発表、事例発表などを含めて、ORを適用していくに際しての課題解決や実践的な方法論を討議し、行政、企業のニーズにこたえていくという姿勢で、本研究部会が理論と実用の橋渡しの役割を果たしたいと思う。 そのためにも、理論家のみならず、企業関係者やコンサルなどの実務家の参加を期待している。

以上の趣旨で、平成15年度からつづいている研究会を時代のニーズにあわせて変化させつつも、さらに継続・深化していきたいと考えている。オペレーションズ・リサーチ学会の他支部、他学会と連携を深め会員に最新の話題提供ができることを目指している。

4. 対象分野

【応用分野】

- ・ サプライチェーンマネジメント、流通システム的设计・運営（ロジスティックス、マーケティングなど）
- ・ サービス工学
- ・ 生産システム的设计・運用・管理（生産方式、スケジューリング、シミュレーション、MRP, ERP, JIT, APS, スケジューリング、シミュレーションなど）
- ・ 公共関連（輸送・交通、医療福祉介護システム、資源環境リサイクルシステム、その他）
- ・ 経営関連（経営戦略、企画、設計、金融財務、組織人事教育、その他）
- ・ 情報技術（情報化企画、ビジネスプロセスモデリング、e-ビジネス、セキュリティ、インターネットアプリケーションなど）
- ・ その他 OR 関連

【理論分野】

- ・数理計画・最適化技術
- ・シミュレーション・待ち行列理論
- ・確率・統計
- ・意思決定支援技術（多目的計画、AHP、ゲーム理論、その他）
- ・ソフトコンピューティング（ニューロ、ファジィ推論、遺伝的アルゴリズム、進化的計算など）
- ・人工知能（機械学習、強化学習等）
- ・その他 OR 関連

5. 研究部会開催計画

- ・年2回以上の開催を予定している。1回当たり講師2名の研究・講演を行う。
- ・講演謝金として、10千円/人×4人 = 40千円を申請致します。
- ・1名は学界から、もう1名は産業界から招聘することを原則にする。
学界、産業界、行政などから参加者を募ることとしたい。
- ・OR学会本部、他支部や他の学会との主催、共催を図っていく。

6. 運営方法

- ・案内は、事前にOR学会会員、今までの参加者へメールリスト（本部および支部）で流す。
- ・関連の学会の支援を依頼し、案内を流してもらう。
- ・研究企画については、幹事が主に担うが、広く参加者からも逐次アイデアを受け、さらに充実したものとしていく。
- ・コロナ禍が収束しない場合は、オンラインでの開催とする。

以上

研究部会趣意書

名称

「OR と数学」研究部会

部会組織（主査，幹事等）

主査：中山慎一（徳島大学大学院 准教授）

幹事：宇野剛史（徳島大学大学院 准教授）

大橋 守（徳島大学大学院 名誉教授）

竹内 博（四国大学 教授）

設立趣意

OR では、数学を道具として用い、広範な現実の問題を取り組み、色々な分野における意思決定を行っている。その道具として利用してる数学の世界では、まったく異なった分野で現れる事象のもとに横たわっている共通の法則性を発見することがある。逆に、OR の手法として開発された数学的技法が、単なる技法というだけでなく、新しい数学や数理科学の萌芽となる場合も存在する。そこで、本研究部会では、OR、数学、数理科学の研究者などを迎え、OR と数学の最新研究を知ることにより、相互における新たな世界構築の可能性について議論する。

対象分野

確率・統計，解析学，幾何学，代数学，最適化理論，グラフ・ネットワーク，スケジューリング，アルゴリズム，計量理論，経済，意思決定論

研究部会開催計画

年2回以上の開催を予定している。

運営方法

開催の案内は主に支部メンバーリスト等を通じて支部会員へ告知する。予算に関しては、講演謝金4件（10,000円 x 4）を予定している。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部
令和5年度予算

資料 2-3 (1/1)

	予算額	備考
(収入の部)		
支部運営費①	250,000	R04実績
支部事業費②	0	次年度は申請せず
収入合計	250,000	
(支出の部)		
支部運営費		
会議費	25,000	
講演会費	60,000	約12,000x5 (謝金・旅費補助)
部会費	75,000	25,000x3部会
表彰関係費	10,000	
事務費	5,000	
通信運搬費	5,000	
事業費	70,000	支部シンポジウム
小計③	250,000	
支部事業費	0	
小計④	0	
支出合計③+④	250,000	
支部運営費残高①-③=⑤	0	
支部事業費残高②-④=⑥	0	
当期運営残高⑤+⑥	0	